
レジスタンス <反逆者>

怪盗S

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

レジスタンス <反逆者>

【Nコード】

N9785Y

【作者名】

怪盗S

【あらすじ】

ここは、平和なイッシュ地方の小さな島「レジレントアイランド」
この島に住むコウキは、ごく普通のポケモンバトルが好きな少年。
しかし、最近はこの島を治めているグランドのせいでポケモンバトルができなかった。

そんなことを調査するべく、シンオウ地方のセイラがレジレントアイランドへ……。

今、ここから、二人の壮大な冒険が始まる！

初めに！（前書き）

小説がまだ終わってないにもかかわらず、新連載。

初めに！

注意！

初心者です。

まだ他の小説書き終わってないw

途中で意味分かんなくなるかも。

ポケモンしか出てきません。

ok？

主人公

コウキ イツシュ地方出身

相棒 ビクティニ

臆病で意気地なし

町の人柄的な感じでポケモンと話が出る（まあ、サトシ
っぱいやつです。）

とある事がきっかけで旅をすることになる

セイラ シンオウ地方出身

相棒 レントラー

（そのほかルカリオ、ギャロップ、ムクホーク、ユキノオ
ー、カブトプスが手持ち）

行動的で意外に調べ事もすることも

親が人間に化けたゾロアークに一目惚れされ、結婚してし
まったので

（旅行中）ゾロアークみたいにポケモンなら化けて能力が
使える

そのほか

ナナカマド博士 セイラがイッシュ地方に行くことになるきっかけ
を作った人

アララギ博士 色々と世話をしてくれる人

ダーク団 グランドの命令には絶対従う

グランド ポケモンリーグからきた知事的な人

初めに！（後書き）

ヒマな方は見てください。

出会い（前書き）

「はじめに」から読んでください。

出会い

ここはレジエントアイランド

セイラ：　　く

ピーピーピー

セイラ：もしもし？

ナナカマド：もしもし？おおセイラ君か！

セイラ：（自分でかけたんじゃん）

ナナカマド：ところで、君に頼みがあるんだが・・・。

セイラ：何ですか？

ナナカマド：君は「レジエントアイランド」という島を知っているかね？

セイラ：知りません。

ナナカマド：その島の博士、バカナ博士と連絡が取れないのじゃよ。

セイラ：（バカナ博士ってWWW）

ナナカマド：アイツは一日一回連絡を取るから連絡しないとこの事はありえないのじゃよ・・・。

そこでセイラ君、レジェントアイランドを調査してくれないか？（はい¥いいえ）

セイラ：（一日一回って・・・選択肢でてるし）はい、分かりました。

ナナカマド：気をつけていくのじゃよ！あとは頼んだぞ！

ピッ

セイラ：お母さんに電話しないと。

ピーピーピー

セイラ：お母さん？あのね、レジェントアイランドに行って調査することになったから。だからまた

しばらく留守にするから！

お母さん：・・・分かったわ。気をつ

ピッ

セイラ：よし！ムクホーク、出てきて！

ムクホーク：ムクー

セイラ：レジェントアイランドまで飛べる？

ムクホーク：ムクー！

セイラ：もう少しでレジエントアイランドね。

????：正面から飛行物体。打ち落とせ！ギガイアス！

ギガイアス：ギガー！

ビュン！

セイラ：今の技何？

ガン！

ムクホーク：ムク……。

セイラ：ヤバツ！

セイラ：キャーーーーー

????：やったか……。

ズサツ

セイラ：イテテテ……。！ムクホーク、大丈夫？

ムクホーク：ムクー・・・

????2：（　）

セイラ：瀕死だ・・・。

????2：・・・誰ですか？

セイラ：（さつき打ち落とした奴！？）

????2：！大丈夫ですか！？ひどい怪我ですよ！

セイラ：（ダメだ・・・意識が・・・。）

テンテンテテン

セイラ：・・・？ここは・・・？

????2：ここはレジエンシティのポケモンセンターですよ。僕はコウキ。

セイラ：私、セイラ。・・・コウキ、ありがとう。ところでさつき私を打ち落としたのって誰？

コウキ：ダーク団です。最近、ポケモン連盟（架空です）からきたグランドさんがポケモンから島を

守るために作った組織です。ジュンサーさんみたいな役割です。

セイラ：！そういえばバカナ博士ってご存知？

コウキ：バカナ博士は・・・最近、グランドさんからポケモンの特性を教えてほしいと

言われた後行方不明になったんですよ・・・。

セイラ：え・・・。

コウキ：それからグランドさんは「住民に被害を与える」とってポケモンバトルを禁止しました。

僕も、ポケモンバトルが好きだったのに・・・。

????3：ティニ・・・。

セイラ：そのポケモンは？

コウキ：ビクティニだよ。僕のポケモンで一番の友達。

ビクティニ：ティニ！

セイラ：ふん。コウキの夢ってある？

コウキ：僕は・・・ジム巡りをしたいです！

セイラ：じゃ何でしないの？

コウキ：・・・ここからジムのある町、ビートルシティまで行く

には森を通って行かなくちゃ

ないんです。けどそこには手ごわいポケモンがいて……。

セイラ：じゃ、一緒に行く？私、この地方（イツシュ地方）来た事
ないから、ポケモンとか教えて欲しい

いし……。

コウキ：でも、両親が……。

セイラ：それならさっき……

コウキ両親：起きましたか？

セイラ：は、はい……。

コウキ両親：貴方のムクホークのレベルを見込んで頼みがあります。

コウキを旅に連れて行ってもらえないでしょうか。

セイラ：え？

コウキ両親：あの子はまだこの小さな町から外に出たことがありません。

だから旅に出て、もっと世界を知って欲しいのです。

どうかお願いします！

セイラ：・・・分かりました。でも、少し不安なのでライブキャスタ
ーの番号を交換してからなら・・・。

セイラ：・・・という訳。

コウキ：（あの両親は・・・）怒（）分かった、旅に出る。いいよ
ね？ビクティニ。

ビクティニ：ティニ！

そうして、私とコウキの旅が始まりました。

出会い(後書き)

作者：グダグダ・・・。

セイラ：そうだよ、落ちるシーンなんかルカリオの波動でかわせ
し。

コウキ：それにポケモンバトルを禁止したらジムできないじゃん！

作者：！！orz

二人：(考えてなかったな・・・。)

ポケモンの育て方？（前書き）

ポケモンは鍛えないと強くなりません。

ポケモンの育て方？

セイラ：まずはポケモンを鍛えないとね……。コウキ、ビクティ二見せて。

コウキ：いいけど……。

コウキはセイラにビクティ二を見せた

ビクティ二 1V1

技 ワイルドボルト

セイラ：……。マジで？

コウキ：え？なんか変だった？

セイラ：色々とね。

セイラは説明したくなさそうなので作者が説明しましょう！

セイラ：割り込まないで。

まず、1V1って事はありません。（タマゴが出来ないから）

それから、仮にタマゴから生まれてもタマゴ技がないというのも基本的なです。

それと・・・なぜワイルドボルトだけ覚えてるんでしょうか？以上！

セイラ：説明ありがとう。

コウキ：よく分かりました。

セイラ：（よくジム巡り目指したな・・・。）

こっ嘆いても仕方がないので

セイラ：まずはどれくらいバトルが出来るか実践で。

コウキ：うわあっ！

野生のミネズミが飛び出してきた！

コウキはどっする？

戦う 道具 ポケモン 逃げる

コウキ：えっと・・・。

コウキは逃げた！

セイラ：戦ってよ。

コウキ：無理無理×2

気を取り直して

コウキはどつする？

戦う 道具 ポケモン 逃げる

ビクティニはどつする？

ワイルドボルト

ビクティニの「ワイルドボルト」！

ビクティニは反動でダメージを受けた

ミネズミの「引っかく」攻撃！

ビクティニは倒れた！

コウキは目の前が真っ暗になった・・・。

テンテンテテン

コウキ：負けちゃった・・・。

セイラ：（まさかひっかくが120も効くなんて・・・。ある意味
強運。）

コウキ：ミネズミに負けた・・・。

セイラ：しょうがない。学習装置使うか。

学習装置

持たせたポケモンはバトルしたポケモンから二分の一経験値をもらえる

コウキ：初めっから使えば良かったじゃんw

セイラ：だって実力を知りたかったから・・・。

という訳で

セイラ：行けっ、レントラー！

コウキ：（なんかスゲー！）

ミネズミ100体とヨーテリー100体が現れた！

コウキ：多すぎだろ！

セイラ：レントラー、「放電」

ミネズミ100体とヨーテリー100体は倒れた！

セイラ：ポケモンがゴミのようだw

コウキ：ムスカかよ。

まあそんなこんなで

ビクティニはLv15になった！

コウキ：やった〜！

セイラ：少しは、私に、礼を、言ってよ・・・。

コウキ：あ、ありがとう。

セイラ：疲れたから寝よつと。

コウキ：おやすみ〜

セイラとコウキの旅はまだまだ続く！

ポケモンの育て方？（後書き）

作者：セイラの手持ちって私のポケモンがベースになってます。

セイラ：まさかビクティニがワイルドボルトしか覚えてないとは・・・

・w

コウキ：そしてセイラがムスカの真似するとは・・・www

作者：これいつまで続くの・・・？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9785y/>

レジスタンス <反逆者>

2011年12月11日12時45分発行